炭婦協の動きに注目

中國炭鑛勞組の委員長と懇談

宮川組合長欧亞旅行記(18)

私と全鉱の副委員長である沢田氏、総評の堀谷氏（全鉱出身）三人で、日本でいうなら炭労、当る中国炭鉱労働組合の委員長……以下執行部全員と一懇談会をもつた。

中国の炭労は完全なる単一組織であつて、一九五〇年に出来たが中央本部には十一名の常任執行委員と四十五名の非常任執行委員がいる。その下に地方の委員会があつ、その下が鉱区別の委員会、その下が単位組合になつてる。

中央大会は四年に一回開かれそこで総ての方針が決定され、予算、決算報告、役員選挙が行われる。地方から下部の組織においては毎年大会を開いて同じようなことを決定するが、完全単一組織であるので組織的な権限は中央本部にあるというこ

現在炭鉱労働者は約五十万で労働組合に入つているものが約八十五%で十五%の人は組合に入つてゐないそうである。これは現在新しい人がどん〳〵入つてくるので、その手続きが中央本部にとどくまで相当の期間を要するため、十五%程度が未加入という風になつているが、殆ど入らないものはないということである。

中央には調査部があつて組織部、宣伝部、生産部、賃金部、労働保険部、労働保護部、家族対策部というような各部がある。

労働条件は八時間労働の週給制で有給休暇は年に七日、賃金形態は能率給と時間給に分れて能率給が大半であり、時間給は極く一部の管理事務職に限られている。現在の生産高は、一九五〇年を百とした場合、一九五三年に上つており、福利施設として文化を高めるための学校、文化会館、或いは各種学校が次々に建設されている。

（上）工業陳列館の前
（下）幼稚園を訪れた代表團

選成中学といつて技手を養成する学校があるが、ここには現在四千名が通つており、また大学もある。これらの選成中学や大学に学んでいるものに対して

は賃金の七十%が補償され、学費、宿舎費は無償である。炭鑛施設、住宅などもどん〳〵建設中であるが、その他療養院もつくられている。食堂、協同組合図書館、クラブ、これらの福利施設は生産に比例して政府から福利費が補助されるので、生産を増強して福利施設をどん〳〵充実させている。文化方面では各種サークルが沢山あり、非常

に盛んにやつている。坑内の機械化についてもまだ不十分であり、技術にしても未熟であるので、組合員に於ては十分その対策を検討中であるが、現在機械化

考えられ、職制の民主化、労働者の教育、協約の締結などが問題となつている。労働はまだ締結する段階に至つていない現在それに対する資料を募集している。

されたというものは二十%程度でまだ八〇%程度は機械化の部類に属さない炭鉱がある。災害にしても解放後は非常に減つては来たが、まだ〳〵十分とは云えない。その原因は何といつても技術陣が非常に不足していること、新人が多いことで、特に電気による事故が多いということである。

当面、生産復興が第一主題と

支払に悩があり、それの取りつけたと言う考えに通じる）

ヘ、鉱員の賃金の上につかつて決める。等であり職員の立場からは「戦前からの賃与としての既得権益」という考方がある

この問題を論議する場合必要なことは、敵は会社であり、鉱職の統一行動をたかめるという観点ともう一点は職員には戦前から賃与制度が存続していたが鉱員には戦前はなく戦後倉機突破資金、中小、荒尾をこれ以上の失業者の増

元、越年資金が実質となり、今日の慣例となつたという観点で考えるべきである。

③従つて次の如く補促解釈する

イ、職員の戦前から職員賞与として一定額を獲得してきた慣習を認め、その慣習の上に立つ金額が高いとか低いとか言う事については問題外とする。

ロ、現在の職員の立場からやはり問いは鉱員が主体とならねばならぬ事を確認し、この観点に立つて統一闘争をすすめる。

二、職員は要求に基き鉱員に通じて要求書を出し鉱員の決定に従つて決定する。

の線に縛られるという考え方を打破する。鉱職実々の立場で要求貫徹獲得のために完全な共闘を組んで闘う。

ヘ、現在の職員の立場からやはり問いは鉱員が主体とならねばならぬ事を確認し、この観点に立つて統一闘争をすすめる。

二、職員は要求に基き鉱員に通じて要求書を出し鉱員の決定に従つて決定する。

るが如き問題を避ける。

三池の考え方

1、実感のこもつた要求として広い問いを組むと言う事と、前回迄の問いの体験からして義務の考え方を確認する。

2、その運用に当つては鉱部闘争に終らぬ様戦術面の考慮が十分なされなければならぬ。

3、闘については基礎的数字の上に立ちまとめなければならぬが三池としては前回の考え方でよろしい。

要求額は一ヶ月分

期末手当の態度きまる

六月十七日より四日間総評会館で開かれる炭労の賃金討論大集会は、調査給廃止の問い方、賃金要求方針、期末手当要求書案の作成、調査活動方針の四部会に分かれ全国より調査又は生産部長（三池清池労働部長）が出席して自然の討論が交わされるが、期末手当要求について六月十三日の中央委員会は執行部の提案を確認、三池の態度を決定した。なお大集会での期末手当の討論は六月二十一日の期末手当中闘で最終決定され、六月末日まで大衆討議、七月一日要求書提出の予定である。

炭労の考え方

一、要求理念について

要求理念は従来の考え方を踏襲する。

二、要求額の決定について

1、二十七年度　第五回大会　二〇・〇〇〇円、借金の借払利潤分配、従来の慣習

二十八年度　第七回大会　二〇・〇〇〇円　借金の借払、赤字補てん、従来の慣習及臨時の支給実績

二十九年度　大衆調査と大衆討議に依り　一四・五〇〇円　慣習的費用を中心として赤字補てん

2、討議の問題点

イ、昨年度の大衆調査の結果は大体一ケ月分の額に集約される。

この額は客観的に見ても現在の苦しいわれわれの炭鉱労務者の生活内容から要求としての正しさを立証する今年も実行したとしてもやはり大体この額に集約されるであろう。

ロ、然し獲得額は何れも七・五〇〇円程度であり、又三十八年下期は八・二〇〇円であつた。

勿論要求額に対する歩止りの高低は本質的な問題ではないが、大部分の人達が前期要求額を土台に、前期額並には絶対取らなければ…

…とかこれを下回つてはならないとか、要求額と関係なく心の中で考えている。そして今期の期末手当についてもやはり前期の上・五〇〇円を土台に考らあげる

かと考えている事も否定出来ないであろう。斯くてわれわれが昨年要求書の性格として確認し努力した、闘争の原動力としての組合員の実感に立つ要求書は今や

選ばれ安く、そこに残つたものはそれはわれわれの理念であり希望と言えるであろう。然し正しい要求書としての価値迄否定するものではない。

ヘ、この様な観点から要求額を決定するための考え方は次の如く大別される

A、月収一ケ月分

B、前期末十アルファー

C、期末手当の制度化

3、鉱職の比について

①鉱職比は第三、三倍であり次鉱員手当の決定後に職員手当がきまつていた。これについては鉱員組合間で割り切れないものが存在するこの点について従前結論を出した（二十八年上期々末手当に関する方針）

イ、職員の既得権は額であつて鉱員との比ではない

ロ、従つて鉱員の賃与額が職員の賃与額に到達する如く闘わねばならぬ。

ヘ、この為には鉱職の完全な共闘が必要であり職員も今迄の如く鉱員賃金決定後、それに乗つかかつて決定し様という事ではなく、共に寧ろ先頭に立つ心構えで闘う必要がある。

この方針を変更しようとする意志は今もないが、若干考え方を補足する。

②鉱職員の問題は、鉱員の立場からは

イ、職員の賃与は三、三倍もとつて高い。

ロ、職員が余計にとるから鉱員がかい（これは会社取上げられたのが前期会議で荒尾で

帰國者を囲んで

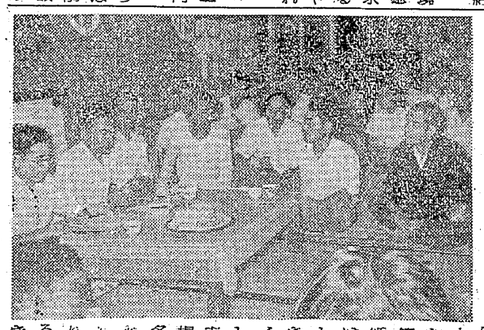
新中國を聞く座談會

工場を休みたいときなど勝手に休めないのではないか。

額色が悪いが、病気ではないかと向うの方から、無理にでも医者に見せさせて休ませる程で実に人間を大切にする。私生活には絶対干渉しません。

去る十四日午后七時より楓町五棟で、大地評清田氏の世話で中国帰国者、大地評清田氏（大運）中本清蔵氏（西鉄）の両氏を招き、中国の医者に見せさせて休ませる程で過去と現況を通じて生々しい体験を語つてもらつた。

城戸氏は十八の時から十五年間、昨年十二月帰国まで大運の疏安工場にいたもので、日本円換算七円程度、また結婚や宣着問題、映画は封切ものなど、本とか新聞で読んだりきいたものより、深くこまかい処まで話しがあり、質問も日本婦人農場問題、引揚、自由の問題等、多岐にわたつて行われたが素ぼくな話振りながら、親切、明るいようで人間味あふるゝ新中国の姿を描き出した（楓町発）



基本線は全村編入

清里村編入

全員協議會で確認

清里村の荒尾市編入の問題は両議会の議決を見たにもかゝわらず、その後當否両論の合頭から紛糾をみて、加えて一部からの長洲町合併の声も出て分村問題までも波及しようとしており、このため部落投票へ変つている。荒尾市議会では前議会で議決した全村編入の態度を今日まで臨んできたが、事態の推移、清里村の状勢の変化に直面して今後編入問題をどう進めて行くかを去る十三日全員協議会を開催して検討した。結論は前議会の議決をあくまでも基本線として更に今後全村編入の方向へ強力に進めて行くことを確認して折衝を行うことになつた。

午後一時五十分開会、まず総務課は議決しているが、もし分村が成立した場合の編入があつた場合、両議会の議決にもかゝわらず、県前の議決は無効になるのか、または一部修正か。一度議会で議決し

これを無理押して村民の不幸を招くことになれば問題が大きいので慎重に検討したい。

村民の意志を尊重

また一部議員から清里村は議決まで荒尾編入をとりあげ、これに対して荒尾でも議決を行つたが、これは恰も養子に来るという親子関係のようなものだ、それなのに清里村をあのような紛糾に落し入れたのは親たる荒尾市の責任であり、聞くところに長洲町は多大の時間や金をかけ、議決はしていないが合併に対する働きかけをしており、非常な熱意を示しているのに荒尾では市政執行者たる市長の執行協力が足らない様に思われると鋭い市政に対する批判があつた。坂田市長はこれに対して自治体と

この分村、編入に対する疑々が出来るかどうかと微妙な点がとらえられて鋭い質疑が集中した。これに対しては分村、編入何れにしても村民の意思尊重という立場執行部は村民の意思を尊重して慎重に考えられたいとの意見があつた。

この問題は清里村の状勢が変わるまでは何回でも議会で議決されたいとの意見があつた。

この他分村、編入に対する疑々が、双方の話合が大体出来て協定書が取交される段階になつた旨が説明された。これに対して若し分村が実現すれば現在の村財産はどのように分配されるのか、編入になつた場合は隣県線が変ると思うがその措置はどうするかなどの財政問題や境界線問題に質疑が浴びせられた。また一部落だけぽつんと編入や分村になつた場合の子供の学校問題までも論問が行われたが、また知事側者には一方的に従わなければならないのか、法律的な効力はどうなつているか、判つていない点は早急に調べて欲しいとの要望が出された。当然問題としてたものをそう簡単に変えることが出来るかどうかと微妙な点がとらえられて鋭い質疑が集中した。

これに対しては分村、編入何れにしても村民の意思尊重という立場で、大地評清田氏の世話で中国帰国者、大地評清田氏（大運）中本清蔵氏（西鉄）の両氏を招き、中国の医者に見せさせて休ませる程で過去と現況を通じて生々しい体験を語つてもらつた。

議決変更は可か

清里村編入

全員協議會で確認

午後二時五十分開会、まず総務課は議決しているが、もし分村が成立した場合の編入があつた場合、両議会の議決にもかゝわらず、県前の議決は無効になるのか、または一部修正か。一度議会で議決し変えずに今後進んで行きたいが、

これを無理押して村民の不幸を招くことになれば問題が大きいので慎重に検討したい。

村民の意志を尊重

また一部議員から清里村は議決まで荒尾編入をとりあげ、これに対して荒尾でも議決を行つたが、これは恰も養子に来るという親子関係のようなものだ、それなのに清里村をあのような紛糾に落し入れたのは親たる荒尾市の責任であり、聞くところに長洲町は多大の時間や金をかけ、議決はしていないが合併に対する働きかけをしており、非常な熱意を示しているのに荒尾では市政執行者たる市長の執行協力が足らない様に思われると鋭い市政に対する批判があつた。坂田市長はこれに対して自治体と

この分村、編入に対する疑々が出来るかどうかと微妙な点がとらえられて鋭い質疑が集中した。

これに対しては分村、編入何れにしても村民の意思尊重という立場で、大地評清田氏の世話で中国帰国者、大地評清田氏（大運）中本清蔵氏（西鉄）の両氏を招き、中国の医者に見せさせて休ませる程で過去と現況を通じて生々しい体験を語つてもらつた。

民主化の第一歩

組合員を待つ休憩所

荒尾市役所前の組合事務所には、今度現場で働く組合員の人が、この事務所に来た時休憩してもらうオアシスだそうだ。これについて、執行部では次のように言つていた。

今度の執行方針の中で組合の民主化が考えられている。民主化ということは良くいわれるが、実際の実行はなかなか難しい。

それで今度まずやらなければならないことは組合員と出来るだけ接触してヒザをつき合せて話す話合いがしたい。それと一緒に、組合員の方が毎日一杯事務所の中に来ておられるという状態をつくりたい。そのために事務所の空気を明るい和やかな雰囲気にして行き、全執行委員が暖い気持で組合員の方を迎える態勢をつくりたい。こういう目的で休憩所を先ず作つた。

休憩所を作れ

暴言取消し確約さす

三川上層東部内において切羽の進行で、従来の休憩所が使えなくなつたので、新たに切羽近くに休憩所を作るように二ケ月程前から要求を出していたが、なんのかんのと云つて言を左右にして渡つて

港務支部の組合事務所には、今度現場で働く組合員の人が、この事務所に来た時休憩してもらうオアシスだそうだ。これについて、執行部では次のように言つていた。

今度の執行方針の中で組合の民主化が考えられている。民主化ということは良くいわれるが、実際の実行はなかなか難しい。

それで今度まずやらなければならないことは組合員と出来るだけ接触してヒザをつき合せて話す話合いがしたい。それと一緒に、組合員の方が毎日一杯事務所の中に来ておられるという状態をつくりたい。そのために事務所の空気を明るい和やかな雰囲気にして行き、全執行委員が暖い気持で組合員の方を迎える態勢をつくりたい。こういう目的で休憩所を先ず作つた。

休憩所を作れ

暴言取消し確約さす

三川上層東部内において切羽の進行で、従来の休憩所が使えなくなつたので、新たに切羽近くに休憩所を作るように二ケ月程前から要求を出していたが、なんのかんのと云つて言を左右にして渡つて

はしたが、これがまた板に足をつけた程度で従来の慣行を無視した態度を表わしている。また賃与制度がその措置はどうするかなどの財政問題や境界線問題に質疑が浴びせられた。また一部落だけぽつんと編入や分村になつた場合の子供の学校問題までも論問が行われたが、また知事側者には一方的に従わなければならないのか、法律的な効力はどうなつているか、判つていない点は早急に調べて欲しいとの要望が出された。当然問題としてたものをそう簡単に変えることが出来るかどうかと微妙な点がとらえられて鋭い質疑が集中した。

これに対しては分村、編入何れにしても村民の意思尊重という立場で、大地評清田氏の世話で中国帰国者、大地評清田氏（大運）中本清蔵氏（西鉄）の両氏を招き、中国の医者に見せさせて休ませる程で過去と現況を通じて生々しい体験を語つてもらつた。

一法案に反対議決

荒尾市議會で滿場一致

十三日午後一時五十分から開かれにしたくない。熊本県下二番目の荒尾市議会全員協議会は「清里村編入について」の議題の後三鉱労組宮川組合長の要望事項として石炭鉱業合理化臨時措置法案、地方財政再建特別措置法案の反対議決が取上げられ、増田議員（三鉱）から法案概要の説明があり、この法案は六万人の炭鉱労働者の首を切ることが目的であり、このため失業者は益々増加するばかりである。労働都市としての荒尾市は四山、三名の二炭鉱をかゝえており、労働都市荒尾の観点から六万市民の代表者として荒尾市を愛するために満場一致で反対議決をおつづいて三鉱出身の各議員からこの法案の意図するものは何であるのか、荒尾をこれ以上の失業者の街

田、福川、屋坂口、浦浜、村本氏など三鉱出身の議員団はあくまでも反対議決を行うべきであり、荒尾市の繁栄を思うならば当然反対議決に賛成せよと論議をたたかわせて一部議員の発言に対して鋭

沉では進んで出場する傾向に変つ

力者にたがわず毎日二時間余の練習を続けているそうであり、トレーニングも毎日汗の道を厳足を行つて頑張を励んでいるそうである

【写真】港務支部八幡A対八幡Bの一戦

歌と踊りで賑う

好評だつた児童演藝会

港友クラブでは去る十日港務支部南地域分会では去る十日午後六時から主婦会と合同主催で児童演藝会を開催した。

同地域分会には児童部を設置して毎年、この児童のための対策として年間行事の予算を組みいろ〳〵と育成費に努めており、今年も行事が計画されて行われたのであるが、非常に盛況を呈し好評を受けている。

会場の港友クラブは定刻にはすでに一ぱいの盛況で、児童たちが演ーションも鮮やかに、踊りに練り出すという複雑さで何事につけても地域分会と主婦会がピッタリと一体に溶けこんで活動をしており地域活動に多くの成果をあげている。またこの日の演藝会の状況はテープレコーダーに全部録音された。

【写真は主婦会のおどり】

今迄にない盛況

課對抗柔道で熱戰

港務所各課対抗の柔道大会は去る十日、港務所柔道場で午後四時半から行われたが、梅雨時のうつとおしい空模様を吹飛ばすかのような試合は終始活況つに行われ、今までに見ない盛況さがみられ、加えて選手自体も試合は今まで依頼の線がなくいつもすつきりつまれている。

ところが港務所松原社宅はいつもきれいに清掃されて、雑草の生える暇がなくいつもすつきりつまれている。

これは同社宅上原春吉さん（船渠）の父留吉さん（八十才）の行いということが最近判明した。上

原さんは毎日広場に出て清掃をやり草むしりをするのを日課のようにして、いつもきれいな広場をして楽しく遊んでもらおうと歓々として奉仕されていたものだつた。地域分会の人たちはこの行為にすつかり感激して早速総会のときに議題に上り、何とかしてこの善行に答えてやらねばと支部の方にも申入れている。

三年連勝成る

宮浦。三鐵野球に優勝

恒例の三鉱野球大会は初夏の青空の下に球音も高く各鉱よりの選抜チーム間にリーグ戦が展開された最後の優勝戦に臨んだ宮浦チームと港務所チームが十四日、午後四時から延命球場で熱戦を展開し優勝の覇を争つた。

さすが両チームとも優勝戦に臨んだだけに守備、打撃とも力強さを見せて接戦を行つたが、昨年、一昨年と優勝を勝つた宮浦チームが連勝への夢をかけて見事十一対四と港務チームを降し堂々と三年連勝の覇をとげた。

この日鉱出した両鉱所の応援も選手に負けず応援戦を繰展げて盛況盛況裡に試合は午後六時頃終了した。

宮浦十一―四港務所

田川鉱ガス爆發

死亡七重傷六輕傷五

六月十六日午前一時四十五分、三炭鑛現場は三坑四民坑三民零号第二上りで、自然発火していたために採掘を中止して密閉作業を行い事故発生と共にその報報に接した三鉱労組では直ちに次のような弔電を打ち、弔慰の意を表したが、それに対し田川労組からも折返し次のような返電があつた。

ガス事故発生の報に接し、痛恨に堪えず、鉱労組の御心労を謝すと共に犠牲者の御冥福を祈る

三池労組

退電

変災に対し御丁重なる弔意を謝す

三井田川労組

三池でもこの田川の災害を教訓として保安対策を強化し、万全を期して互いに尊い生命を守るよう一層の努力が必要だろう。被災された方々は次のとおりで、告別式は自宅で夫々執行された後、合同葬が行われる。

◇死亡　仕繰夫藤淵勝次、同渡辺爾、元てん夫江川敏男、仕繰夫中島金八、同松下岩雄、同寺崎鐵源、職員兼商岩吉。

◇重傷　仕繰夫島田二郎、観測員宮近英博、仕繰夫杉貞雄、同医藤信夫、同大畑昭三、同長谷川鉄次郎

◇軽傷　仕繰夫宝原義、観測員大塚俊雄、仕繰夫坪田万一、同田中十郎、職員牛島茂

大牟田観光スタンプ圖案募集

△資格＝制限なし△規定＝はがき又は同型厚紙、図柄中に大牟田市名を入れる△〆切＝六月三十日△賞金＝一席二千円、二席千五百円三席千円ほか△宛先同会事務局。

児童の育成へ

珠算や書道も指導

四山支部、宮内地域分会では、今年度から新たに児童対策部を設置することを役員会議で決定した。最近の世相の困難からくる影響で青少年の悪化は益ヒッチに進み、青少年犯罪が続出しているとき、分会で児童のための対策を立てゝ地域が主体となつて児童の育成強化を行い、健全なリクレーションも取入れて明るい健康な成長を助けようというものだそうだ。

また夏休みなどに体験、響道などの設置会も開催と予定されており、新たな発足として分会員の人たちから大きな期待がかけられている。

各駅で盛な歓迎

ハンガーマーチ　辻氏から一便

労働者の首切りと労働強化で企業合理化を行い、地方財政の建直しを図ろうとする悪質な首切りから立案された石炭鉱業合理化法案、地方財政再建特別措置法案の二法案に反対して総評を中心とする大国民運動が展開されようとしているが、全国各地の労組代表が東京へ行つて二大反対運動を繰展げるハンガーマーチに、大牟田からも去る十四日四氏が出発、各地で合流しつつ決起大会を行いながら東京向け進んでいるが、同マーチに参加した本部社総務部長から十日第一便がもたらされた。

御見送り有難う御座居ました。福岡陸軍団九炭労七名、日教組中央一名、計三十四名、九炭労代表を私が引受けて十二時三十分福岡を出発、途中折尾にて日炭高松の盛大な歓迎を受けました。

午後六時宇部に着き駅前広場で総決起大会が行われそれに参加しました。時間の関係で二〇〇名程度集りました。

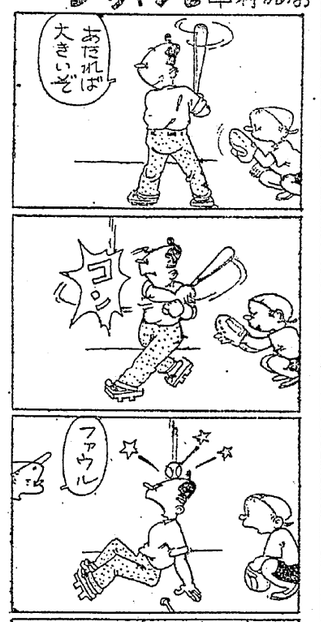
宇部の炭労関係は組合の改廃と組合員の首切りとの問題で陸軍団に参加する事が出来ない状態で後から上京する様です。三十四名の組合員は首切り反対でなく条件闘争を望んで居り、交渉が困難を来して全く執行部は苦しい立場にあるそうです。当日は宇部に一泊。

清掃や草とり

感謝される上原さん

社宅広場などは最近スポーツの盛んになるにつれて、広く利用され地域の人たちのレクレーションに役かつているが、広場の清掃などは案外多くの人たちからは忘れられているところが多い。

連載漫画 NO 22
マちゃん　中村かめお



十五日午前七時三十分宇部発、十時山口着、駅前より岡の中校まで行進、市役所に到着に市職組の歓迎に依り市長と面会申入れ、直に面会をしました。

市長は、首切り、増税はしない昇給を認める、以上市長の回答を得て十時三十分より市職組合員の総決起大会に出席（二五〇名）約一時間、日教組、自治労、炭労の挨拶があり盛大に終了、十二時十分山口県庁前広場で県職組の大会に臨みました。参加人員約二・〇〇〇名。午後一時バスで県庁を出発、大雨の中でみんな盛大に歌つて下さいました。一時三十分広場へ向います。只今車中で、九時半広場へ着く予定です。

各駅での地協の歓迎に力を得てみんな元気で頑張っています。国鉄も協力をしてくれるので大変助かります。最後迄私も頑張ります。組合長も体を大切にして頑張つて下さい。皆様によろしく。

車中にて　辻長吉

組合事務　（原文のまま）